

日中同形多義語〈深/浅〉の意味構造対照分析

徐蓮

1. はじめに

日本語の「深/浅」は中国語の“深/浅”と同源同形であるが、意味の食い違ったところが多い。例えば、

①この古酒には深い香りがある。

②那个比方很浅显。/あのたとえは易しい。

例①の「香りが強い」という意味と、例②の「易しい」という意味はそれぞれ日本語と中国語の独特な用法で、両言語の間に意味拡張の相違が見られる。第二言語習得において、同形のため母語転移が起こりやすいために、それらの相違がしばしば学習者の理解を妨げ、誤用の原因になる。母語転移を生かすには、同形語〈深/浅〉の意味構造を対照し、その共通点と相違点を見つけることが重要である。

日中両言語の〈深/浅〉についての研究は数が少ない上に、多大な課題が残されている。日中対照研究はまだ空白状態である。また、使用状況を考察しない質的研究で意味構造の全体像を捉えにくい。本稿では、コーパスに基づき日本語と中国語における〈深/浅〉の意味構造を量的に記述し対照する上で、意味と使用の両面から両言語の類似と相違を明らかにし、同形多義語の共通性と特殊性の背後にある認知基盤を究明する。

2. 中心義の認定

意味構造を明らかにするには、まず原義を辿り探す必要がある。「深/浅」が中国語に語源を求めることから、まず“深/浅”の語源を考察した。その結果、“深”がそもそも川の名前であることがわかる。しかし、CCL 通時的コーパスでの考察によれば、この原義がほとんど使われておらず、代わりにその拡張義である〈水面から水底までの距離が長い〉という意味は、出典も二番目に古く、しかも古代から広く使われてきた。一方、“浅”の原義は〈水面から水底までの距離が短い〉ことを指し、そもそも“深”の反対語として作られたと思われる。通時的考察と幼児の言語習得研究(村井,1970)によれば、〈水面から水底までの距離が長い/短い〉という意味を〈深/浅〉の中心義と見なす。

3. 意味構造分析

吉村(2004)の理論に基づき、〈深/浅〉の各意味項目を再整理した。

表1 〈深/浅〉の意味構造

I	[空間]
1.	[距離]
(1)	[水の距離] 水面から水底までの距離が長い/短い…①
(2)	[上下距離] 上下の距離が長い/短い…②
(3)	[内外距離] 境界から奥までの距離が長い/短い…③
2.	[密度]

-
- (1) [密度] 密集/まばら…④
 - (2) [色調] 色が濃い/薄い…⑤
 - (3) [光度] 暗い/明るい…⑥
 - (4) [臭覚] 匂いが強い/ほのか…⑦
 - (5) [味覚] 味が強い/薄い …⑧
-

II [時間] 始まりからの時間が長い/短い …⑨

III [状態]

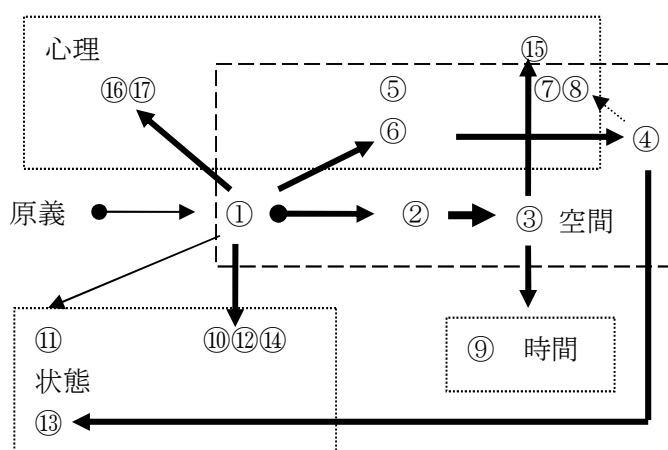
- 1. [顕著度] 顕著/微弱…⑩
 - 2. [難度] 難しい/易しい……⑪
 - 3. [本質度] 本質に達する/表面的…⑫
 - 4. [関連度] 密接/疎遠…⑬
 - 5. [公開度] 内心的/公開的…⑭
-

IV [心理]

- 1. [感覚]
 - (1) [視臭味覚] …⑤～⑧
 - (2) [聴覚] 音声が低い/高い …⑮
 - 2. [思考強度] たくさん注意を払う/あまり注意を払わない…⑯
 - 3. [感情強度] 感情が強い/薄い …⑰
-

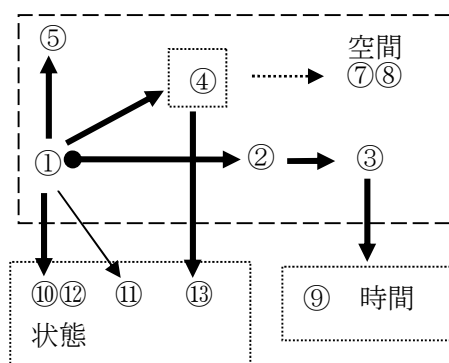
〈深/浅〉の意味拡張は、身体的にとらえやすい空間把握から、次第に抽象的・理知的な領域に進行する。空間・時間・状態・心理といった幅広いドメインに拡張している。拡張図は次の通りである。¹

図1 〈深〉の意味ネットワーク



¹太い矢印：日中共通の拡張；実線の細い矢印：中国語の独自の拡張；点線の細い矢印：日本語の独自の拡張；端に黒い丸が付いた矢印：メトニミーによる拡張。

図2 〈浅〉の意味ネットワーク



まとめ：

(1) 〈深〉〈浅〉対照

拡張手段から見れば、〈深〉も〈浅〉も主にメタファーによって拡張している。目標ドメインはほとんど同じであるが、〈浅〉では心理ドメインへの拡張がない。拡張プロセスが大分異なっている。

(2) 日中対照

ほぼ同じプロセスによって拡張しているが、④から⑦⑧へ、①から⑪への拡張がそれぞれ日本語と中国語独自なものである。

4. 使用状況考察

中日対訳コーパスから〈深/浅〉を含めた例文を抽出し、「深」の例文を 1494 例、「浅」826 例、“深” 146 例、“浅” 86 例を入手した。サンプル考察を行った結果、次のことが分かる。

(1) 両言語とも〈深〉の意味項目の分布は〈浅〉より広い。また、〈深〉は主に抽象度の高い意味として使われているが、〈浅〉は具象的な意味として使うことが多い。

(2) 中国語の拡張意味の使用率は日本語を上回っている。“深/浅”の拡張程度が「深/浅」より甚だしいことが分かる。

(3) 〈深/浅〉の意味カテゴリーでは、使用率の高い中心的成員は両言語ではほぼ同じであるが、使用率の低い周辺の成員に大きくずれが見られる。

5. まとめ

以上、意味と使用状況の両面から考察した結果、〈深/浅〉は両言語において基本義、拡張手段、目標ドメイン、分布傾向などの面で共通点が見られるが、周辺の意味と各意味の使用状況に著しく差異が見られる。その共通性と特殊性を支えるのは、人間共通の身体・物質経験と各社会それぞれ特殊な文化的経験である。第二言語習得においては、この共通性と特殊性の活用が重要である。

参考文献

1. 胡琳. 「深い」「浅い」の語義に対する認知的研究[D]. 解放军外国语学院硕士论文, 2007.
2. 徐蓮. 日本語と中国語における〈深/浅〉の認知的対照研究[R]. 第4回国際日本学コンソーシアム口頭発表, 2010
3. 瀬戸賢一. メタファーと多義語の記述[A]. 楠見孝. メタファー研究の最前線[C]. 東京：ひつじ書房, 2007

4. 飛田良文・浅田秀子. 現代形容詞用法辞典[Z]. 東京：東京堂出版, 1991.
5. 村井潤一. 言語機能の形成と発達：乳幼児の音声, 言語活動の比較発達的研究[M]. 東京：風間書房, 1970
6. 森田良行. 基礎日本語辞典[Z]. 東京：角川書店. 1989
7. 吉村公宏. はじめての認知言語学[M]. 東京：研究社, 2004
8. 陈娜. 基于语料库的“deep”和“shen（深）”的认知对比研究[D]. 上海外国语大学硕士论文, 2008.
9. 郝玲. 谈反义词“深/浅”的不对称现象及解释[J]. 现代语文, 2006 (5). PP20-22
10. 孔李茜. 多义范畴“深”“浅”及其在对外汉语教材中的编排策略[D]. 上海师范大学硕士学位论文, 2008.
11. 任永军, 滕向农. 空间维度词“深、浅”的认知语义分析[J]. 柳州师专学报, 2001 (4). PP23-26
12. 束定芳. 英语“deep”与汉语“深”的概念化对比 [R]. 第六届中国认知语言学研讨会大会报告, 2009.
13. 王红娟. 空间维度词“深”“浅”的认知诠释[J]. 科技信息, 2006 (11), P159
14. 徐莲. 汉日语“深”的认知语义分析[R]. 第 1 回中日対照言語学シンポジウム口頭発表, 2009.